

## 第 61 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会②】

日時：2025 年 11 月 5 日（水）

全体会・部会②・部会③ 10:00～12:00（予定）

場所：JR 東日本現地会議室

### 次 第

#### 【部会②】

(1)開会

(2)北棟ビル建設予定地における仮覆工の工事計画について

【資料 1】

(3)その他

(4)閉会

※なお、資料のなかで個人に関する情報や事業の関係等で非公開である情報については、一部表現を修正しています。その他、写真・図について一部訂正や出典等の加筆・修正をしています。

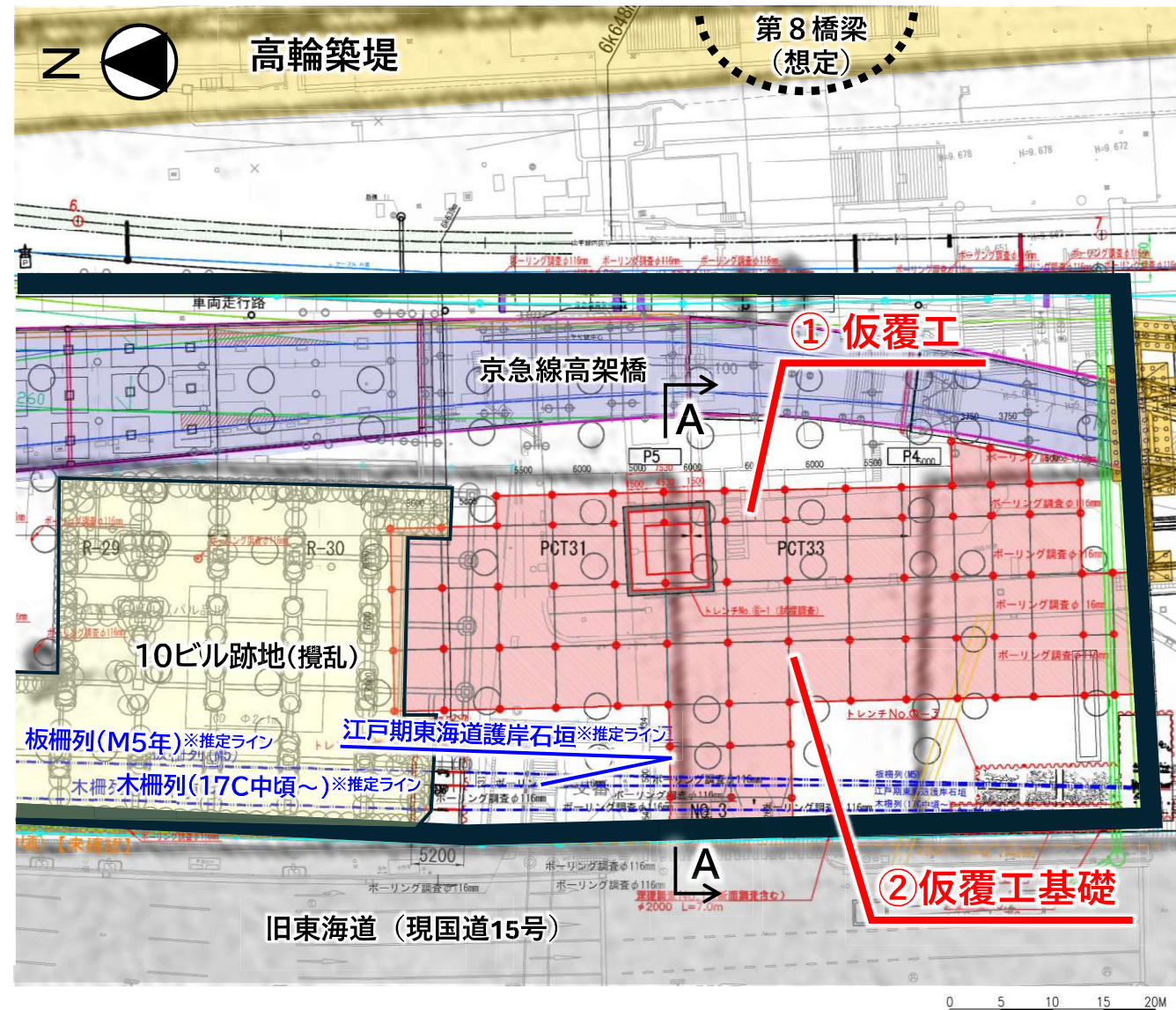
北棟ビル建設予定地において、北棟ビル工事および京急連立工事で仮覆工の設置が必要となる。については事業スケジュール厳守のため、以下の工事に着手したい。

## 1. 着手工事内容※

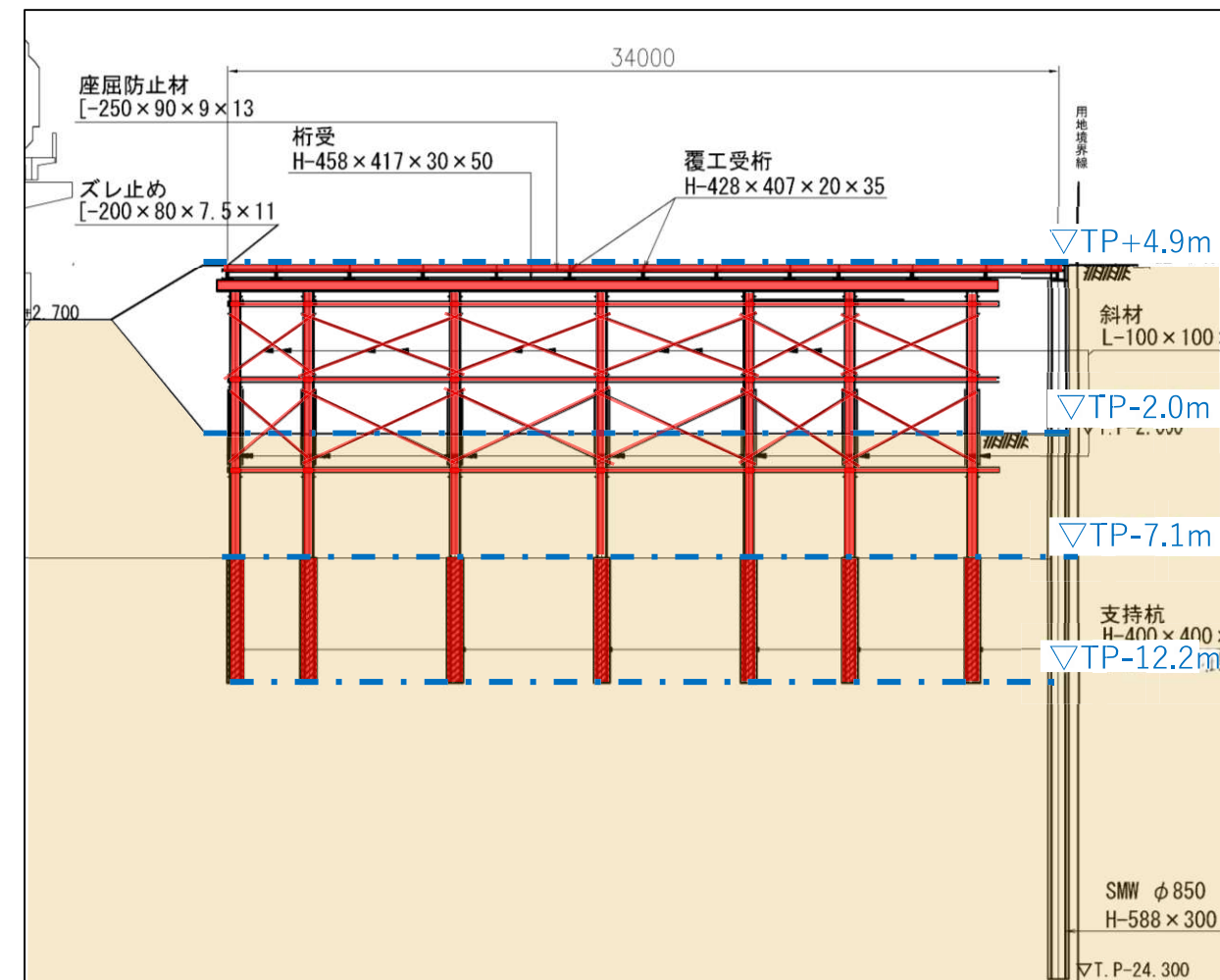
- ① 仮覆工 約1,600㎡
- ② 仮覆工基礎(H鋼杭) 約80本(400H L=16.5m 根固め工φ650mm 基礎下端:TP-12.2m)

※ 今後実施する調査を踏まえ、仮覆工範囲および仮覆工基礎の位置や本数等について深化を図る

位置平面図



断面図(A-A)

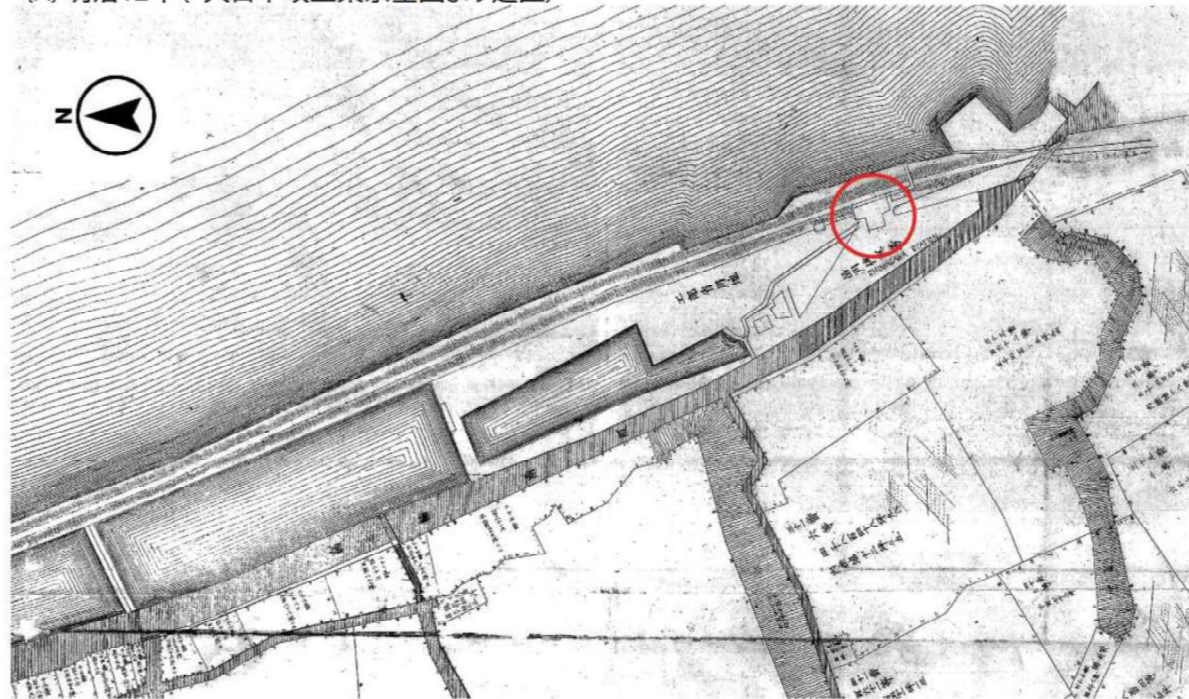


2023.4.5 第30回高輪築堤調査・保存等検討委員会 部会② 資料3 港区作成資料

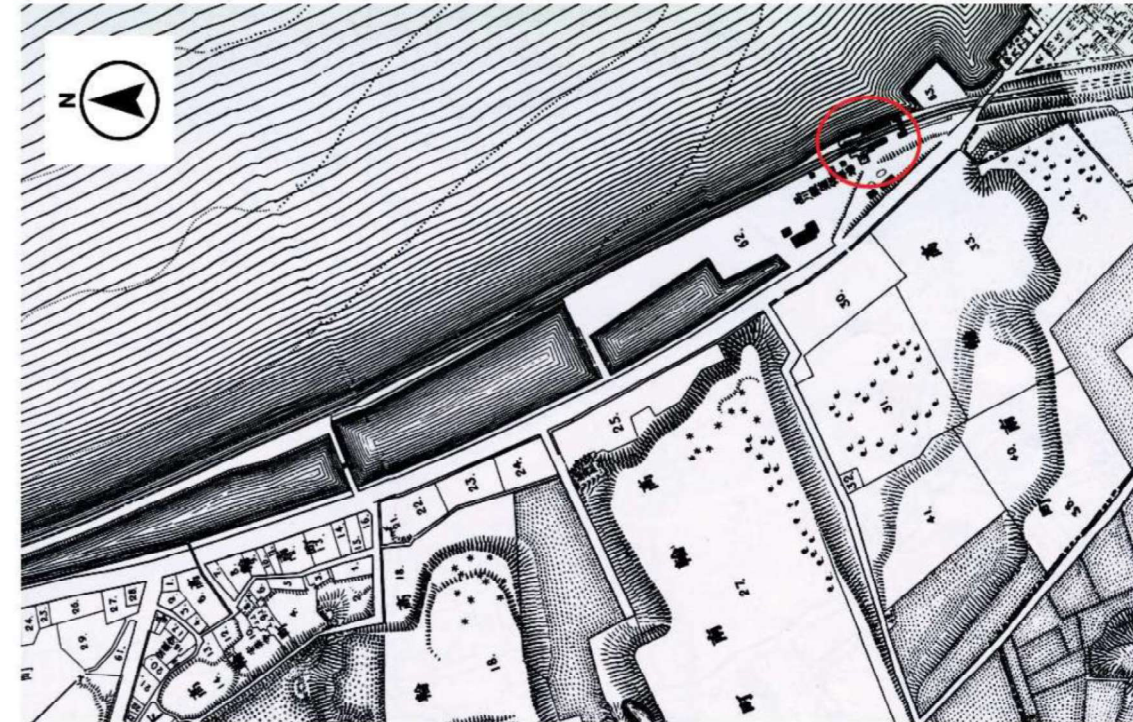
駅街区地区の今後の進め方について

【資料3】

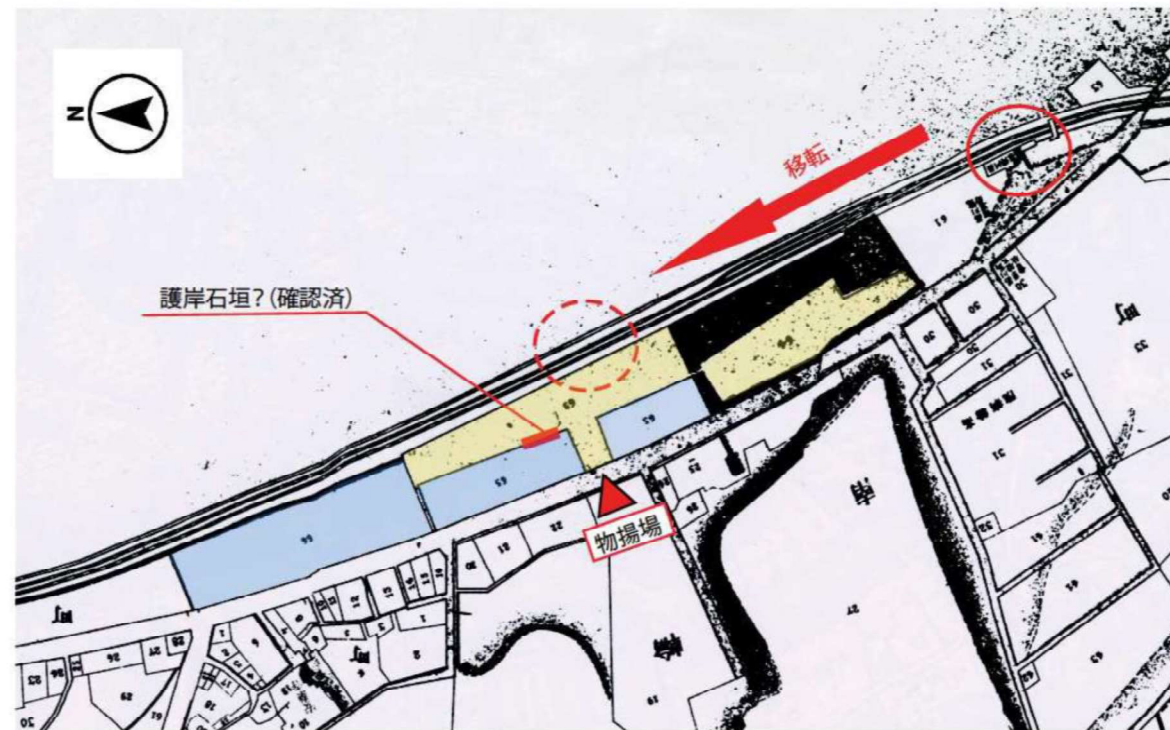
(A) 明治12年(「大日本改正東京全図より芝區」)



(B) 明治20年(内務省地理局「東京実測図」)



(C) 明治30年(東京芝区全図)



- (A)
  - ・八ツ山橋の北に「品川停車場」あり。
  - ・第8橋梁の南北仕切堤の間は水域は維持
  - ・南横仕切堤の南側に水溜あり。
- (B)
  - ・品川停車場の位置は変わらず
  - ・第8橋梁の南北仕切堤の間は水域を維持
  - ・南横仕切堤の南側に水溜はあるが、(A)と比べると南横仕切堤の南側で水域が広がるか?
- (B)～(C)間
  - ・品川停車場の位置は変わらず
  - ・築堤と東海道の間水域の埋立(水色範囲=第1段階、物揚場維持のため)
- (C)～
  - ・高輪築堤が3線に拡幅される(明治32年)
  - ・品川停車場の位置は変わらず(明治34年、北へ移転)
  - ・築堤の東海道の間水域の埋立(黄色範囲=第2段階)

【駅街区地区およびその周辺で想定される遺構】

- ① 高輪築堤跡(複線化以降の山側盛土等)
- ② 第8橋梁に伴う横仕切堤
- ③ 小規模な堤(2街区西側の調査で確認)
- ④ 粘土採掘坑(2街区西側及び泉岳寺駅改良事業に伴う調査で確認済)
- ⑤ 旧品川停車場に伴う整地層・盛土、水溜等
- ⑥ 埋立てに伴う石垣・土留め、水路・暗渠、建物・井戸・下水・道路等
- ⑦ 東海道の護岸(石垣、土留め等)

→ 試掘調査による  
確認が必要